

第 54 回 慶應 EU 研究会 EU 研究ワークショップ

「ニュースバリューとしての EU EU 認識研究の視点から」

福井英次郎

慶應ジャン・モネ EU 研究センター

共同研究員

1. はじめに

(1) EU 認識研究

目的～「EU が EU 域外でどのように認識されているのか」を明らかにすること

2000 年代初頭より開始

中心的役割

a) Martin Holland & Natalia Chaban

b) NCRE (National Centre for Research on Europe), University of Canterbury,  
Christchurch, NZ.

対象地域の拡大～オセアニアからアジア、世界へと拡大

(2) 日本における EU 認識研究

プロジェクト『アジアの眼から見た EU (The EU through the Eyes of Asia)』

a) 背景

・ASEF (Asia Europe Foundation, アジア欧州財団), 1997-

・ESiA (ESiA, European Studies in Asia)

b) 枠組

・日本、韓国、中国、香港、シンガポール、タイ

・2006 年～2007 年に実施

・日本～慶應義塾大学が拠点

(3) 『アジアの眼から見た EU』

研究の枠組～市民意識調査・エリート意識調査・メディア内容調査

メディア分析の手法

a) 「EU ニュース」の定義～EU に関係する諸機関名及び ASEM が入っている

b) EU ニュースの切り口や内部の分析は可能

メディア分析の限界～EU ニュースを他国ニュースと比較できない

(4) 仮説

現状認識

・欧州統合の深化と拡大 「EU は国際的に重要なアクターとなってきた」と見なす

仮説～「EU の深化と拡大によって、日本における欧州のニュースバリューは増大している」

## 2. 分析手法

## (1) タックマンの「ニュースの網」

・「網には穴がある。どれだけの獲物があるかは、網の密度と強度にどれだけ投資したかに左右される。」

## (2) 国際ニュースのニュースバリュー

・ジャーナリズム組織における海外特派員の配置状況

## (3) データ～『日本新聞年鑑』(日本新聞協会所属組織の海外特派員数が掲載)

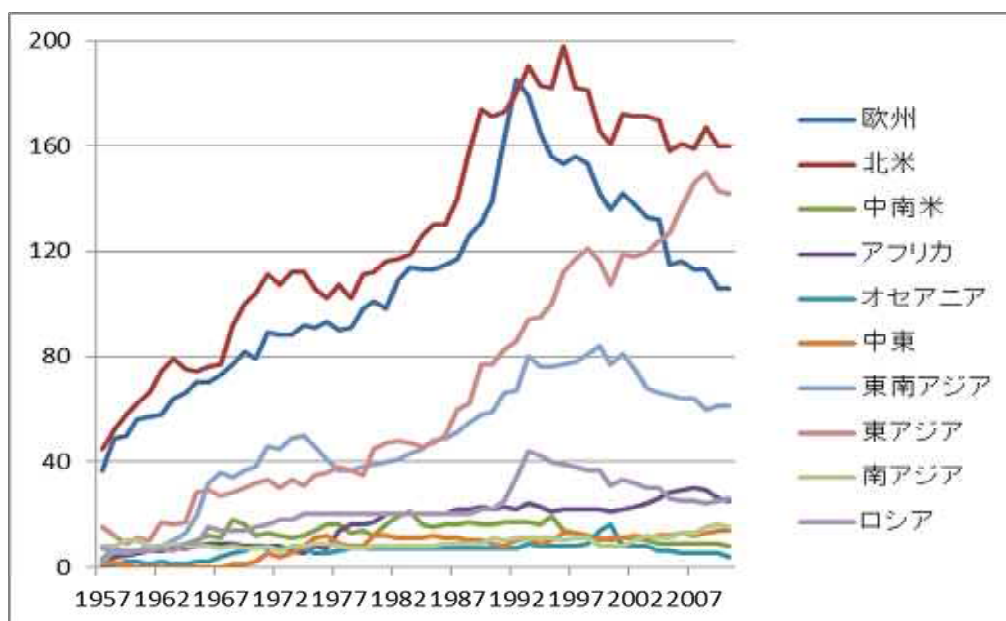
## (4) 地域区分(図表 1)

地域区分	国名
欧州	英国、フランス、ドイツ、チェコ、ポーランド、オーストリア、ベルギー、アイスランド、イタリア、スペイン、ギリシャ、スイス、スウェーデン、ノルウェー、ハンガリー、セルビア、キプロス、トルコ
北米	米国、カナダ
中南米	メキシコ、キューバ、ブラジル、ボリビア、アルゼンチン、ペルー、チリ
ロシア	ロシア
アフリカ	エジプト、ガーナ、ナイジェリア、ケニア、タンザニア、ジンバブエ、南アフリカ
中東	イラン、レバノン、イスラエル、イラク、バーレーン、アラブ首長国連邦、アフガニスタン
南アジア	インド、スリランカ、パキスタン、ネパール
東南アジア	ミャンマー、タイ、シンガポール、ベトナム、カンボジア、マレーシア、フィリピン、インドネシア
東アジア	モンゴル、中国、台湾、韓国、北朝鮮

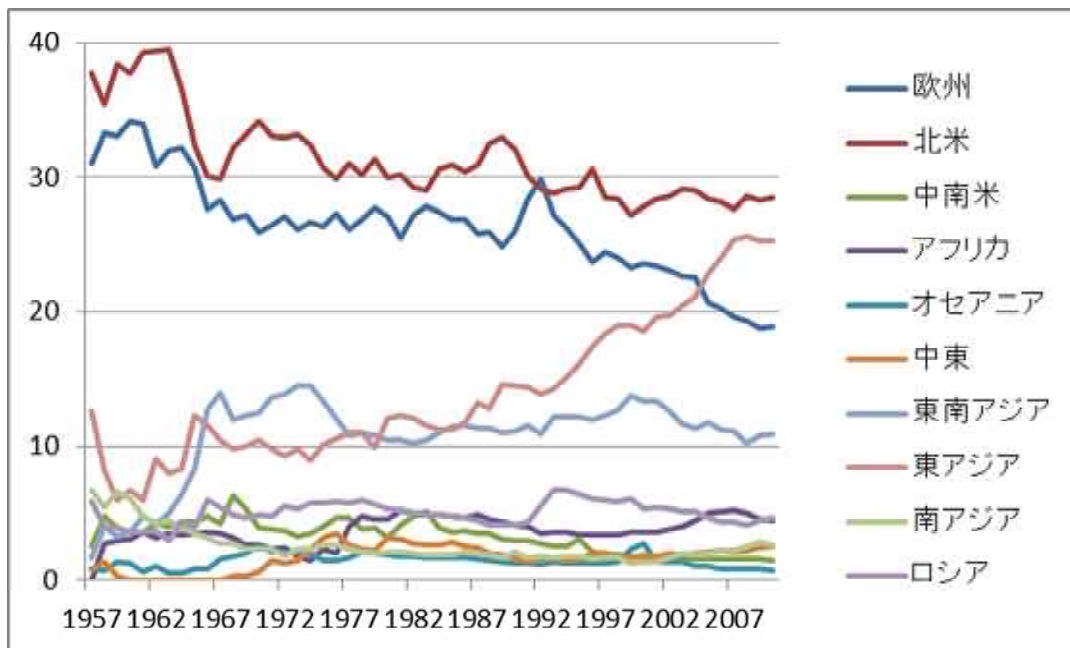
図表 1 地域区分

## 3. 分析結果

## (1) 世界の地域別の推移(図表 2、図表 3)

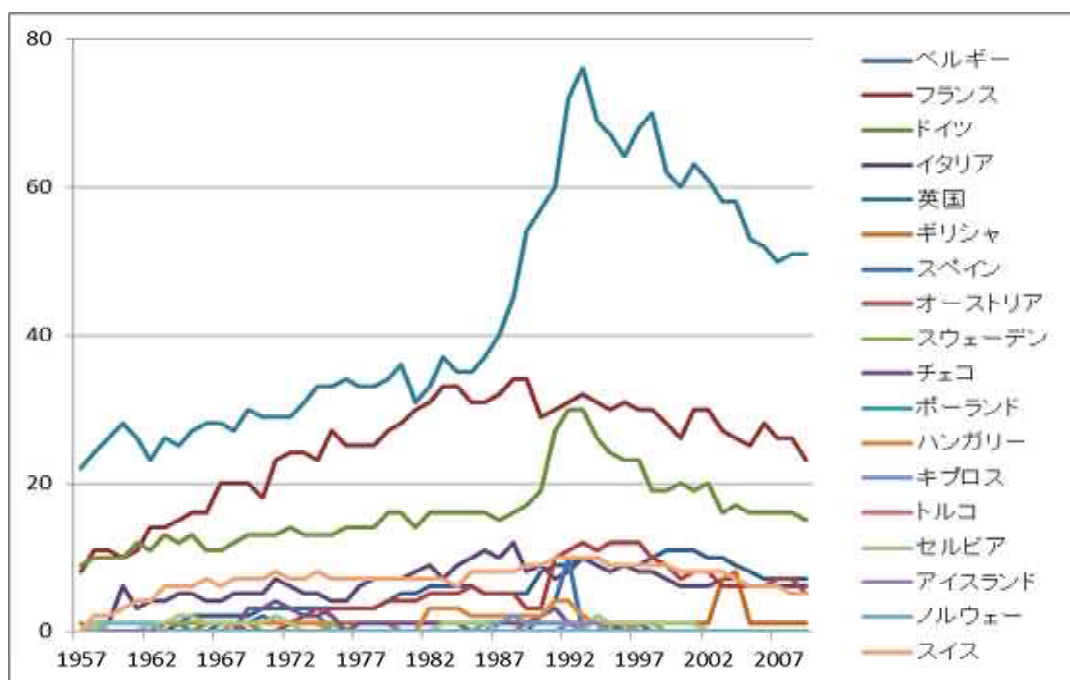


図表 2 地域別海外特派員数の推移



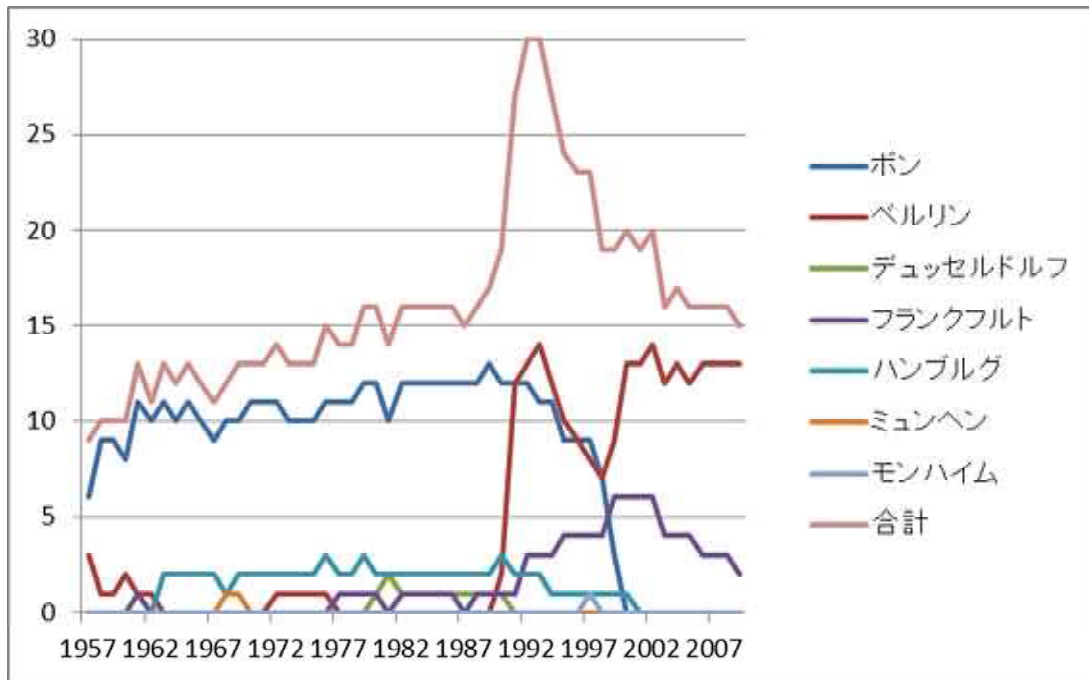
図表 3 地域別の推移

( 2 ) 欧州各国別の推移 ( 図表 4 )

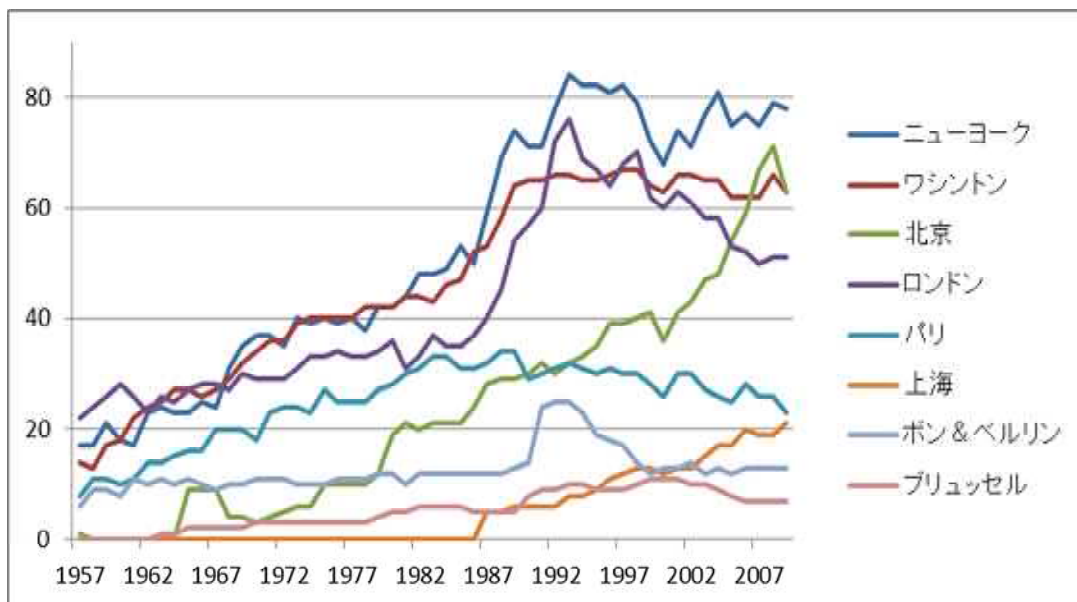


図表 4 欧州各国別の推移

( 3 ) 都市別の推移 ( 図表 5 . 図表 6 )

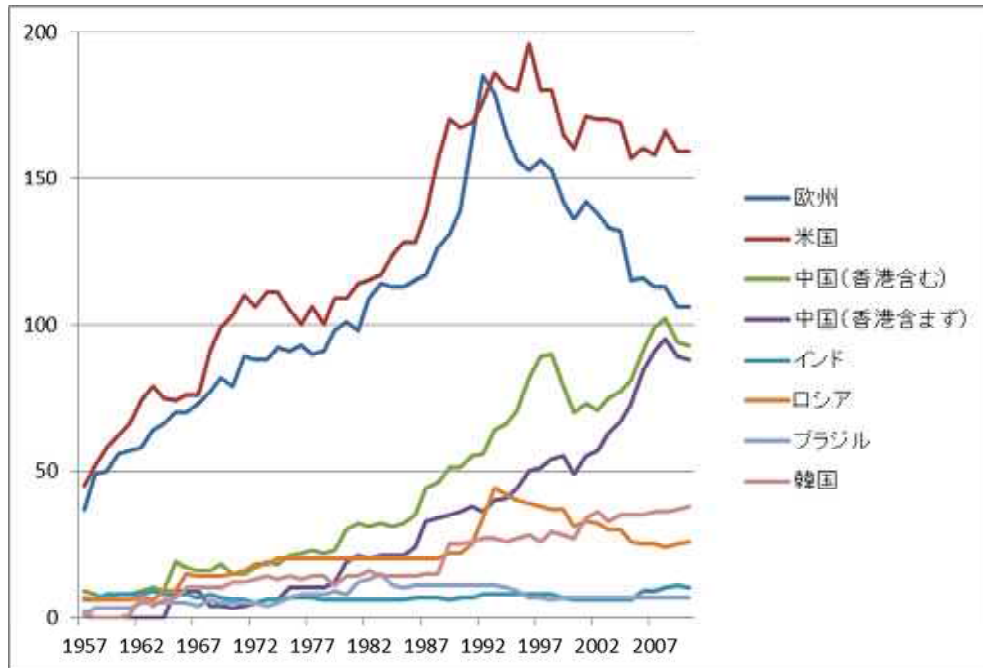


図表 5 ドイツ各都市の人数の推移



図表 6 世界の都市との比較

( 4 ) 主要国との比較 ( 図表 7 )



図表 7 主要国との比較

4 . 考察

( 1 ) 長期的な欧州のニュースバリューの低下

EU 拡大・深化 欧州のニュースバリュー増大  
冷戦終焉期 ( マーストリヒト前後 ) ~ 最大化

( 2 ) 拠点の減少

点から面へ ?

a) 拡大 ~ 空間の均質化の可能性

b) 冷戦の終焉 ~ 安全保障の後退の可能性

海外ニュースを取り巻く環境の変化 ?

a) 技術発展 ~ 特派員を駐在させる必要がなくなった可能性

b) ネットワークの進展 ~ 海外通信社の利用増大の可能性

5 . おわりに

( 1 ) 今後の課題

メディア関係者へのインタビュー

アジア周辺諸国の取材体制との比較

( 2 ) 今後の研究課題

実際の報道内容の分析と本研究との関連性の検討

a) 特派員数とニュース数との関係

b) EU ニュースの発信源

特定事例の検討 ~ 欧州金融問題 ( EFSF ) におけるギリシャ報道のパーспекティヴ

6 . 資料・主要参考文献

- ・ ASEF (Asia Europe Foundation), <http://www.asef.org/>, (accessed on 12/09/2011).
- ・ ESiA (European Studies in Asia), <http://esia.asef.org/>, (accessed on 12/09/2011).
- ・ NCRE (National Centre for Research on Europe),  
<http://www.euperceptions.canterbury.ac.nz/>, (accessed on 12/09/2011).
- ・ Holland, Martin, Peter Ryan, Alojzy Z. Nowak and Natalia Chaban (eds.) (2007) *The EU through the Eyes of Asia: Media, Public and Elite Perceptions in China, Japan, Korea, Singapore and Thailand* (Singapore-Warsaw: Asia-Europe Foundation, NCRE, Ateneo de Manila University, and University of Warsaw).
- ・ Tanaka, Toshiro, Eijiro Fukui and Jessica Bain (2007) 'Cast in America's Shadow: Perceptions of the EU in Japan', in Holland, Martin et al (eds.) (2007) *The EU through the Eyes of Asia: Media, Public and Elite Perceptions in China, Japan, Korea, Singapore and Thailand* (Singapore-Warsaw: Asia-Europe Foundation, NCRE, Ateneo de Manila University, and University of Warsaw), pp. 104-144.
- ・ Chaban, Natalia, Martin Holland and Peter Ryan (eds.) (2009) *The EU through the Eyes of Asia, Volume II: New Cases, New Findings* (Singapore: World Scientific).
- ・ Chaban, Natalia, Martin Holland (eds.) (2008) *The European Union and the Asia-Pacific: Media, Public and lite Perceptions of the EU* (2008) (London: Routledge).
- ・ *Asia Europe Journal*, Vol. 8, No. 2, 2010, の所収論文。
- ・ 福井英次郎 (2008) 「EU 認識研究に関する一考察—日本のエリート調査を事例として」『日本 EU 学会年報』第 28 号、113-131 頁。
- ・ 福井英次郎 (2009) 「世論調査から見たアジアにおける EU 認識—規範的パワー論の批判的考察」『法学政治学論究 (慶應義塾大学)』第 82 号、37-67 頁。
- ・ 福井英次郎 (2009) 「日本のエリートにおける駐日欧州委員会代表部に対する認識—経済的窓から規範的窓へ？」『法学政治学論究 (慶應義塾大学)』第 81 号、67-96 頁。
- ・ 日本新聞協会 (1957-2010) 『日本新聞年鑑』(日本新聞協会)。
- ・ タックマン、G (1991) 『ニュース社会学』(鶴木真・櫻内篤子訳)(三嶺書房)。
- ・ Galtung, Johan and Mari Holmboe Ruge (1965) 'The Structure of Foreign News', *Journal of Peace Research*, Vol. 2, No. 1, pp. 64-91.